



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社エスプール

コード番号 2471 URL http://www.spool.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上壮平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤英朗 (TEL) 03(3517)6633

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	1,252	△18.4	1	—	△1	—	△4	—
23年11月期第1四半期	1,535	25.6	△25	—	△29	—	20	—

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 △4百万円(—%) 23年11月期第1四半期 20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	△181.86	—
23年11月期第1四半期	790.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第1四半期	1,317	168	12.8
23年11月期	1,100	173	15.8

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 168百万円 23年11月期 173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年11月期	—				
24年11月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,466	△16.0	15	206.0	10	—	1	△97.0	46.76
通期	5,200	△6.0	90	177.7	80	351.8	62	△69.8	2,425.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年11月期1Q	25,834株	23年11月期	25,834株
24年11月期1Q	一株	23年11月期	一株
24年11月期1Q	25,834株	23年11月期1Q	25,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法

- ・四半期決算補足説明資料につきましては、本日（平成24年4月6日）、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、欧州の財政不安やタイの洪水被害等による世界的な景気減速により、平成23年10～12月期の実質GDPが2四半期ぶりのマイナス成長になる等、厳しい状況が続いております。しかし、平成24年2月に入り長期化していた円高が是正方向に向かっているほか、復興需要等内需の後押しもあり、徐々に景気回復の兆しが見られます。一方、雇用情勢については、失業率が高水準で推移するなど依然厳しい状況が続いており、改善の予兆はありません。

このような環境の下、当社グループは、当期の事業方針に従って、人材派遣サービスの積極的拡大のための準備、アウトソーシングサービスの体制整備、そして新規サービスの展開を推し進めて参りました。収益面では、前連結会計年度に売却したシステム事業及びパフォーマンス・コンサルティング事業の影響により減収となったものの、事業拡大、体制整備のための人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を売上総利益率の改善で補い、営業黒字を確保しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,252,570千円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は1,166千円（前年同四半期は25,691千円の営業損失）、経常損失は1,106千円（前年同四半期は29,398千円の経常損失）となりました。また、前第1四半期連結累計期間においては特別利益に計上した関係会社株式売却益の影響がありましたが、当第1四半期連結累計期間においては特別な事象はありませんでした。その結果、四半期純損失は4,698千円（前年同四半期は20,413千円の四半期純利益）となりました。

平成24年11月期 第1四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成23年11月期 第1四半期	平成24年11月期 第1四半期	増減率
売上高	1,535,435	1,252,570	△18.4%
営業損益	△25,691	1,166	—
経常損益	△29,398	△1,106	—
四半期純損益	20,413	△4,698	—

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

主に、株式会社エスプールにてロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシング等のサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、ロジスティクスアウトソーシングの体制整備、障がい者雇用支援サービス及び顧問派遣サービスといった新規サービスの収益化に注力して参りました。新規サービスが収益化に至らなかったほか、キャンペーンアウトソーシングにおいて大型案件がなく、売上は伸び悩みましたが、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスの利益率が大幅に改善し、増益となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は429,150千円（前年同四半期比19.8%減）、営業利益は17,693千円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、地方におけるコールセンター業務の需要を積極的に取り込むため、新たに北陸支店を開設いたしました。また、携帯電話販売支援業務拡大に備え、人員及び組織の整備・強化を進めたほか、登録スタッフ募集費を増加させました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は852,028千円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は68,129千円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

平成24年11月期 第1四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成23年11月期 第1四半期	平成24年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	1,640,314	1,281,178	△21.9%
ビジネスソリューション事業	535,190	429,150	△19.8%
人材ソリューション事業	842,671	852,028	1.1%
システム事業	202,638	—	△100.0%
パフォーマンス・コンサルティング事業	59,813	—	△100.0%
その他	6,299	6,339	0.6%
調整額	△111,178	△34,946	—
合計	1,535,435	1,252,570	△18.4%

営業利益（単位：千円）	平成23年11月期 第1四半期	平成24年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	65,280	85,822	31.5%
ビジネスソリューション事業	16,917	17,693	4.6%
人材ソリューション事業	72,619	68,129	△6.2%
システム事業	3,465	—	△100.0%
パフォーマンス・コンサルティング事業	△27,722	—	—
その他	△3,060	△3,507	—
調整額	△87,910	△81,148	—
合計	△25,691	1,166	—

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から217,727千円増加(19.8%増)し、1,317,789千円となりました。当第1四半期連結累計期間においては、期末近くに人材派遣サービスの売上が大幅に増加しており、これにより売掛金が84,737千円増加しました。また、次四半期以降の派遣スタッフへの給与支出に備えて預金の積み増しを行ったため、現金及び預金が106,166千円増加しました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から222,425千円増加(24.0%増)し、1,149,149千円となりました。前述のとおり、次四半期以降の派遣スタッフへの給与支出に備えて預金の積み増しを行ったため、結果として短期借入金が235,000千円増加しました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から4,698千円減少し、168,639千円となりました。これは、四半期純損失4,698千円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

人材派遣サービス、ロジスティクスアウトソーシングといった主力サービスは概ね計画通りに推移しております。新規サービスにおいて一部遅れが見られますが、現時点では当社グループを取り巻く環境に大きな変化はなく、期初の事業方針を粛々と実行して参ります。従いまして、平成24年1月12日に発表いたしました平成24年11月期の連結業績予想について、変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

①「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

②「連結納税制度」の適用

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	448,997	555,163
受取手形及び売掛金	466,468	551,206
商品	9,507	9,507
仕掛品	1,247	3,348
その他	71,682	91,913
貸倒引当金	△6,128	△2,527
流動資産合計	991,775	1,208,611
固定資産		
有形固定資産	27,027	25,774
無形固定資産	8,612	7,796
投資その他の資産		
その他	79,938	86,383
貸倒引当金	△7,291	△10,777
投資その他の資産合計	72,646	75,606
固定資産合計	108,286	109,177
資産合計	1,100,061	1,317,789
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,300	74,217
短期借入金	390,000	625,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	38,018	3,712
未払費用	181,221	190,896
賞与引当金	13,882	18,194
その他	145,299	137,128
流動負債合計	866,723	1,089,149
固定負債		
社債	60,000	60,000
固定負債合計	60,000	60,000
負債合計	926,723	1,149,149
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	23,337	18,639
株主資本合計	173,337	168,639
純資産合計	173,337	168,639
負債純資産合計	1,100,061	1,317,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	1,535,435	1,252,570
売上原価	1,202,787	977,725
売上総利益	332,648	274,845
販売費及び一般管理費	358,339	273,679
営業利益又は営業損失(△)	△25,691	1,166
営業外収益		
受取利息	43	61
持分法による投資利益	—	199
法人税等還付加算金	851	—
その他	16	2
営業外収益合計	912	263
営業外費用		
支払利息	3,733	2,028
社債利息	711	508
その他	174	—
営業外費用合計	4,620	2,536
経常損失(△)	△29,398	△1,106
特別利益		
貸倒引当金戻入額	563	—
関係会社株式売却益	43,060	—
特別利益合計	43,623	—
特別損失		
固定資産除却損	4,419	1,188
特別損失合計	4,419	1,188
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,805	△2,294
法人税、住民税及び事業税	2,452	2,403
法人税等調整額	△12,869	—
法人税等合計	△10,416	2,403
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	20,222	△4,698
少数株主損失(△)	△190	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,413	△4,698



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	20,222	△4,698
四半期包括利益	20,222	△4,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,413	△4,698
少数株主に係る四半期包括利益	△190	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネスソ リューション 事業	人材ソリ ューション 事業	システム 事業	パフォー マンス・コ ンサルティ ング事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	524,200	748,340	197,006	59,723	1,529,270	6,164	-	1,535,435
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替 高	10,990	94,330	5,631	90	111,043	135	△111,178	-
計	535,190	842,671	202,638	59,813	1,640,314	6,299	△111,178	1,535,435
セグメント 利益又は損失 (△)	16,917	72,619	3,465	△27,722	65,280	△3,060	△87,910	△25,691

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。

2. セグメント利益の調整額△87,910千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△85,081千円及びセグメント間取引消去△2,829千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネスソ リューション 事業	人材ソリ ューション 事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	419,989	826,241	1,246,231	6,339	-	1,252,570
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替 高	9,160	25,786	34,946	-	△34,946	-
計	429,150	852,028	1,281,178	6,339	△34,946	1,252,570
セグメント利益 又は損失 (△)	17,693	68,129	85,822	△3,507	△81,148	1,166

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。

2. セグメント利益の調整額△81,148千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,288千円及びセグメント間取引消去140千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度にてパフォーマンス・コンサルティング事業を行っていた株式会社エスプール総合研究所の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これにより同事業セグメントを廃止しております。

5. 前連結会計年度にてシステム事業を行っていた株式会社G I Mの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これにより同事業セグメントを廃止しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。